6月1日 まちべ 【沼田市中心市街地】 り情

令和3年

◇土地区画整理事業の進捗状況について◇

◇地域資源活用事業について◇

換地の指定を行い、これにより仮換地の指定率は 57.4%となりました。 引き続き、活性化の会、各街区委員と協議、 まいります。 地の指定について、 令和3年2月 17日に土地区画整理審議会が開催され4街区西側の仮換 諮問、 意見なしの答申をいただきました。 検討を進め、事業を推進して 同日付で仮



ります。 工事、その他環境整備工事等、 なお、今年度の事業計画は商和通り拡幅工事、 仮換地指定済箇所の建物移転を予定してお 2 街区区画道路景観舗装

◇土地区画整理審議会委員について◇

馬銀行沼田支店長である武井義明会長代理が選任されました。 われ、審議会において沼田商工会議所専務理事である中村一喜会長及び群 土地区画整理審議会について、組織の人事異動に伴い、後任の推薦が行

◇トライアル・サウンディングについて◇

勝手、 集客と出店料をどの程度徴収できるかの目安を測ることができました。 民間事業者の事業集客力、 ついてはキッチンカーの利用やイベント広場としての利用があり、 ングとは、市が保有する公共施設等の暫定利用を希望する民間事業者を募 でトライアル・サウンディングを実施しました。トライアル・サウンディ 令和2年6月9日から令和3年2月 -ドバックし、公共施設等の今後の活用方針に活かしていくため、 採算性、 立地条件等を確認することを目的としています。2年度に 実際に使用してもらう制度です。暫定利用後、 信用等を、 28日の期間に(仮称)天狗プラザ また、 民間事業者は、 課題をフ 市は

合わせは「都市計画課街なか対策室(23.2111(内線4122))」へ 続して実施していきますので、 お問い合わせください。 ベント時の休憩スペースなど、 トライアル・サウンディング、(仮称) 天狗プラザの利用についてのお問い 今年度(令和3年4月9日から令和3年9月 3 日の期間)についても継 幅広い使用方法の応募をお待ちしています。 キッチンカーや小規模イベントの実施、

No.97

沼田市都市計画課

=発行者=

街なか対策室 TEL 0278-23-2111





があふれていました。 バスツアーで来られたお客さまも中心市街地に多く訪れており、 りで「ミニミニえびす講」やテラス沼田でのフリーマーケットを実施して で写真撮影や袴姿での食べ歩きを楽しんでいただきました。当日は本町通 加者に文化財施設や中心市街地のまち歩きをしてもらい、気に入った場所 いました。「大正風の袴体験」を 11月 21日、 わい創出の一環として沼田市観光協会と連携し「地域資源活用事業」を行 いたこともあり、参加者には満足していただける結果となりました。また、 昨年度、沼田市では上之町にある文化財施設の利活用及び街なかのにぎ 22 日の2日間実施し、

関と連携した事業の実施など皆様のご理解とご協力をお願いします。 盛況のうちに終わりました。今年度は大正ロマンエリアを利用したにぎわ とのコラボやレトロバスの運行、2回目の「袴体験」を実施し、 い創出事業補助や地域資源活用事業でのアンケート結果をふまえ、関係機 この事業に引き続き沼田市観光協会ではアニメ「はいからさんが通る」





アニメ「はいからさんが通る」パネル

◇空き店舗活用事業について◇

たな店舗が出店しました。出店者についての詳細は次のとおりです。 沼田商工会議所と連携して実施している空き店舗活用事業について新

街なか屋2号店 店名:手作り革工房「はろはろ」

代表者: 酒井 伸一

場所:沼田市中町 1125

出店内容:革製品の工房兼販売店

ープン日:4月17日(土)

営業時間: 10 時~ 17 時

定休日:毎週水曜日

沼田公園の交流ハウス 屋」が令和3年3月で3年の契約を終了し、 を離れた後も天狗プラザを利用した演武や観光客の案内などにより中心 市街地の発展に貢献していくことを期待しています。 街なか屋1号店で昨年度まで営業していた上州真田武将隊商い処「松之 (旧テニスコート南側) に移転しました。 街なか屋1号店から退店し、 街なか屋



街なか屋2号店「はろはろ」

◇上之町の歴史的建造物移築について◇

督教団沼田教会紀念会堂」の移築が完了しました。移築に伴い、 歴史、観光、交流機能の充実が図られ、にぎわいの創出が期待がされます。 をこのエリアに移築することにより、 についても石畳風の舗装を行い、大正風の街並みへの整備が進んでいます。 また、令和3~4年度にかけて東京都渋谷区にあった「旧久米邸洋館」 2街区について、令和2年度に「旧土岐家住宅洋館」および「旧日本基 大正ロマンの街並みの整備と文化、 区画道路

石畳風舗装

(R2.12 オープン)

【「旧久米邸洋館」について】

岩佐多聞邸」として親しまれていました。 用された洋館は、関東大震災や戦時中の空襲などの困難をくぐり抜け、「旧 派)風の外観を持つものです。 久米家の後、 紀州德川宗家の迎賓館として使 木造平屋建てで、当時世界的に流行していたセセッション (ウィ 邸宅であり、 この建物は沼田市名誉市民である久米民之助翁 (1861 大正期に建てられた洋館として歴史的に貴重な建造物です。 1931)が暮らした ン分離

る沼田市に情報提供があり、市内への移築による保存整備を決定いたしま 翁に所縁があり同じく渋谷区内の旧土岐家住宅洋館を移築した実績のあ 昨年 10月末を期限に建物の解体が決定していたことから、 久米民之助

